

18/NOV/2014

記者発表会
「アルザスと日本、深まるパートナーシップ」
CONFERENCE DE PRESSE
“ALSACE ET JAPON, PARTENARIAT EN PLEINE EXPANSION”

登壇者 Intervenants

フレデリック・メイエル氏

フランス観光開発機構 在日代表およびアジア・太平洋・中東地区統括責任者

Monsieur Frédéric MEYER, Directeur Japon, Coordinateur Asie – Pacifique - Moyen Orient
d'Atout France

ベルナール・デルマス氏

在日フランス商工会議所会頭、日本ミシュランタイヤ株式会社代表取締役社長

Monsieur Bernard DELMAS, Président de la Chambre de Commerce et d'Industrie Française du Japon – CCIFJ, Président de Michelin Japon

マリ＝レーヌ・フィシェー氏

アルザス地方圏議会副議長、アルザス・ビジネス&観光促進機構副会長

Madame Marie-Reine FISCHER, Vice-Présidente du Conseil Régional Alsace, Vice-Présidente de
l'Agence d'Attractivité de l'Alsace

ディディエ・ホフマン氏（アルザス国際商工会議所）

Monsieur Didier HOFFMANN, Directeur Export de CCI International – Alsace Export

ジェラルド・スタデル氏（アルザス人国際連盟会長）

Monsieur Gérard STAEDEL, Président de l'Union Internationale des Alsaciens

後藤淳子氏（アルザス・欧州日本学研究所 日本事務所代表）

Madame Junko GOTO, Directrice du Bureau CEEJA au Japon – CEEJA

資料 Dossiers de presse

- ・アルザス商工会議所 / Chambre de Commerce et d'Industrie de Région Alsace (CCI Alsace)
- ・在日フランス商工会議所 / Chambre de Commerce et d'Industrie Française du Japon (CCIFJ)
- ・アルザス・ビジネス&観光促進機構 / Agence d'Attractivité de l'Alsace (AAA)
- ・アルザス食品産業地方協会 / Association Régionale des Industries Alimentaires d'Alsace (ARIA)
- ・アルザス人国際連盟 / Union Internationale des Alsaciens
- ・アルザス・欧州日本学研究所 / Centre Européen d'Etudes Japonaises d'Alsace (CEEJA)

アルザス商工会議所

CCI de Région Alsace

アルザス商工会議所（CCI de Région Alsace）には企業約 60,800 社が加盟しています。

その活動は以下の 3 点を中心に行われています。

- 経済開発に係る諸問題に関して、政府当局に対して加盟企業を代表すること
- 地域の経済開発を促進すること
- 加盟企業のあらゆる発展段階、特にその国際展開において助言、指導、支援を行うこと

アルザス商工会議所と国際的な位置づけ：

人口 1 人当たり輸出額がフランス第 1 位の地域圏、アルザスは、対日輸出では第 7 位に位置づけられています。アルザスの中堅中小企業約 300 社が日本市場向けに輸出を行っています。アルザスの主な対日輸出品目は、医薬品、一般産業用機械装置、基礎化学製品、自動車製造部品、飲料・アルコール飲料、および農業・林業機械です。

アルザスはスイスとドイツに接し、アルザスを中心とする半径 500km 以内に欧州 8 カ国が収まるといふ、理想的な立地環境と欧州各国市場に対する抜群のアクセスの良さを誇ります。また、アルザスはパリに次ぐフランス第 2 位の外交の中心地でもあります。

さらに、フランスで 3 番目に工業化が進んだ地域圏であり、多様なセクターが発展を遂げている産業集積地です。

アルザスはフランスの人口全体の 2.5%、輸出全体の 7%を占めています。輸出品目は、アルザスで見られるほとんどの主力業種を反映しています。

また、研究開発分野でもフランス第 3 の中心地です。重要な民間研究所が集まり、多くのスタートアップ企業が輩出されています。

輸出主要品目：

- 1) 自動車部品
- 2) 医薬品
- 3) 化学品
- 4) 非鉄金属
- 5) 自動車関連製品



1918 年設立の在日フランス商工会議所は、現在約 480 社が会員企業となり、1600 人以上のビジネスパーソンが活動に参加しています。在日の欧州商工会議所の中で最も大きな商工会議所であり、所属する在外フランス商工会議所連合（CCIFI）は、82 カ国、112 のフランス商工会議所から成り、世界全体で 30,000 社の会員企業が入会しています。国内では、会員及び日仏ビジネスコミュニティの交流を促進するため、イベント開催からコミュニケーションの支援、人材紹介からビジネスサポートまで幅広いサービスを提供しています。フランス企業が日本で活躍する上で、重要なパートナーの役割を果たしています。

La CCI France Japon est une association non-gouvernementale créée en 1918. Elle est membre du réseau mondial CCI-France International qui réunit 112 Chambres dans 82 pays et représente plus 30 000 entreprises à travers le monde. La CCI France-Japon rassemble près de 500 entreprises membres. Elle est la première Chambre européenne au Japon.

La mission de la CCI France Japon est de promouvoir et de développer les échanges bilatéraux, les investissements et les relations commerciales entre la France et le Japon. Elle anime la communauté franco-japonaise en fournissant des services variés à ses membres. C'est un club d'affaires qui organise une centaine d'événements par an, connectant réseaux d'affaires et d'influence. Elle conçoit des publications pour mieux comprendre le Japon, tenir ses membres informés de la vie des affaires au Japon et leur donner de la visibilité. Elle aide ses membres à recruter et à former leurs équipes. Enfin, elle offre des prestations d'appui commercial, telles que de la prospection et suivi commercial, des recherches de partenaires, ou une aide à l'implantation (domiciliation).

Elle est de ce fait un partenaire essentiel pour les entreprises françaises au Japon.

プレスリリース

アルザス・ビジネス&観光促進機構 優れたアルザスブランド

アルザス地方議会は2014年、アルザスの魅力をさらに発信するため、フランスで初めての機関として、アルザス・ビジネス&観光促進機構（**Agence d'Attractivité de l'Alsace : AAA**）を設立しました。

アルザス地方議会議長のフィリップ・リシュールが会長に就任し、アルザス地方議会副議長のマリ＝レーヌ・フィシェー及びアンドレ・レイシャールの両名が副会長となっています。

アルザス地方の魅力推進と競争力拡大を見据え、アルザス・ビジネス&観光促進機構は経済、観光、文化など各分野において地方政府の決定権をもつリーダー達の強い意志の下、創立されました。

ヨーロッパの中心に位置し、世界に開かれたアルザス地方の卓越した魅力、その大いなるポテンシャルはさらなる資源や豊かさを引き寄せます。

アルザス・ビジネス&観光促進機構には次のような役割があります。

- ・アルザス地方における各種活動推進、経済拡大、雇用促進
- ・それぞれが持つノウハウを生かし、共働作業をすることでアルザスの知名度、競争力を向上させる

アルザス・ビジネス&観光促進機構では、イノベーション分野、ハイテク分野において特にリーダーシップを取ることに重点を置いています。経済、観光、生活の質、教育、研究、文化、創造、美食、スポーツなどの分野でアルザスの利点を最大限にプロモーションしていきます。

アルザス・ビジネス&観光促進機構では具体的かつ実践的な方法でアルザスの魅力を最大限に紹介するとともに政治的な支援も行います。当組織の主な役割は下記の通りです。

- ・経済投資家の開拓及び世界に向けた観光プロモーション
- ・世界市場に向けたアルザスの企業に対する経済開発支援
- ・フランス国内外における観光プロモーション
- ・フランス国内外におけるアルザス全体の魅力発信、広報活動
- ・「イメージアルザス」ブランド、「特選ラベル」、「.alsace」ドメイン名の管理及びプロモーション
- ・アルザスの経済パートナーのネットワーク拡大活動
- ・観光、経済開発に必要な専門知識

・プレス連絡先・

アルザス・ビジネス&観光促進機構 **Agence d'Attractivité de l'Alsace**
Fatima Krittter-Rachedi – Anouck Sittre | Tél. : +33 (0)3 89 29 81 32 - Cell. : +33 (0)6 18 22 77 82
f.rachedi@alsace.com / a.sittre@alsace.com



アルザス食品産業地方協会〔ARIA〕 20 周年記念 アルザス食品産業への声明

20 年前よりアルザス食品産業地方協会は地域企業の発展を担っています。
1994 年に設立され、130 以上ものアルザスの同じビジョンを持つ様々な規模の企業
を結んできました。食品産業はアルザスにおいて経済的、社会的、そして文化的に
大きな柱となっています。

17,500 人の雇用があるアルザスの食品部門はアルザス地方において 2 番目に大きな
地域産業です。アルザス食品産業地方協会はアルザス食品産業のフランスにおける
輸出業の強化に貢献することを願っています。〔フランス全体の輸出において 9 %
を占める〕。

アルザス地方における食品産業は 17,500 人の雇用を有し、当地方にとって 2 番目に
重要な産業となっています。アルザス食品産業地方協会は、アルザスの食品産業が
フランス国内および輸出先において（競争力を高めることに貢献すべく日々努力を
重ねています。

2012 年に立ち上げられた集合的ブランド「アルザスの味覚（サヴレ・ラルザス
Savourez l'Alsace）」には 1500 もの商品が登録されており、商品と消費者との結び
つきをより強固なものにしています。



世界の中のアルザス L'Alsace dans le monde

海外に住むアルザス人は、アルザスという地域を世界に知らしめるため、最も有益な役割を果たしています。世界に向けてのアルザスのサービスおよび専門知識やその広い関係は、アルザス人の国際的ネットワークによって **1981** 年に構成され、アルザスを国際的に結びつけ、近づけ、話題にしてくれるアルザスの協会や海外愛好者によって活気づけられてきました。

国際化の動きにより、地方都市はフランスと言う顔と各地域イメージと共感を与えてきました。アルザス人は集結し、最もダイナミックで美しい地域として笑顔を提供しています。

アルザスと日本の長い付き合いをふまえ、その関係性を具体化すべき時がやってきました。アルザス協会の東京支部創設です。東京のアルザス人と日本のアルザス愛好者が集う会がここに発足いたします。

Gérard STAEDEL ジェラー スタデル
Président de l'Union Internationale des Alsaciens

アルザス人国際連盟会長



**CEEJA – AREJA 発表
プレス発表会 2014 年 11 月 18 日 東京**

アルザス・欧州日本学研究所〔CEEJA〕はアルザス地方、オーラン県、アルザス ミュルーズ都市圏、コルマル市から財政支援を受け、研究所内に一部門として「日本 - アルザス経済協力機構〔AREJA〕」を設置しました。

この活動部門は 2014 年に「アルザス・ビジネス&観光促進機構〔l'Agence d'Attractivité de l'Alsace〕」と「アルザス・欧州日本学研究所〔CEEJA〕」との間で交わされた協定の下、両者パートナーシップが生まれ、日本におけるアルザスの代表機関となります。

日本とアルザスの友好関係が 150 年前に始まったという経緯については、映画監督・プロデューサーである大隈孝一氏が日本とアルザスの友好関係をテーマにした映画「ほおずき」を製作するにあたり、アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）と共同でアルザスと日本間の交流史を調査したことで明らかになりました。

この映画は、11 月上旬に「日本・アルザス友好 150 周年」の閉会を彩るフェスティバルにおいてアルザスと日本で上映されています。

注目すべきことは、アルザスと日本が初めて交流を持ったのが 19 世紀半ばと、ヨーロッパでも最も早い時期だったということです。それは日本が数世紀にわたる鎖国に終止符を打ち、世界に向けて門戸を開いた、まさにその時期でした。

日本の開国においては経済産業基盤を確立することが視野としてあり、日本の商人たちは国内市場向けの製品製造、また自国での工場保有にあたって、当時技術がより進歩していたヨーロッパへ向かいました。

このような背景のもと、1863 年以降、大阪の商人達がアルザスの繊維産業界、とりわけ当時その分野で世界を牽引していた都市ミュルーズに日本の和柄図案を持ち込み、日本市場向けにアルザスの羊毛生地への染色・製造を依頼しました。

これらの図案がプリントされた羊毛布地はモスリンと呼ばれるもので、1864 年に船で日本へと逆輸入されました。それらの製品は着物に仕立てられ特に冬の衣類として重宝されました。

この交流はその後も続き、経済界だけでなく、芸術の分野においても重要な役割を果たしました。日本からアルザスの捺染業者に送られた数々の図柄はヨーロッパの人々にとっては初めて日本様式(意匠)の世界の発見であり、ひいてはヨーロッパにおける「印象派」や「アール・ヌーボー」といった芸術様式誕生に多大な影響を与えました。

このような交流が様々な分野において現代まで引き継がれた結果、ヨーロッパにおいてアルザスは日本と特別なパートナーとなりました。同時にアルザスにおいては日本ブームが興り、アルザス地方の美術館には日本美術品の重要なコレクションが今なお保存されています。

この日本とアルザスの友好関係は中断されることはなく、19 世紀末以降多くの日本人学生がストラスブール大学に留学しており、後の昭和天皇である裕仁親王殿下は、皇太子時代の 1925 年にアルザスをご訪問されました。

そして、特にこの 30 年来は、多くの日本企業がアルザス地方に進出し、経済分野においてますます関係が強まっています。また同時に文化・学術交流も盛んに行われています。

また、芸術家が度々アルザスを訪れています。例えば、宮崎駿監督の映画「ハウルの動く城」では、その舞台としてアルザスが使われており、とりわけコルマールは映画の主な舞台として度々登場します。

さらに、25 年前にはストラスブール大学日本学学科が創設され、続いて 2001 年にアルザス・欧州日本学研究所、また、日仏大学会館・在ストラスブール日本国総領事館も設立され、日本とアルザスの絆を一層強めています。

旧アルザス成城学園のあったキンツハイム市に本部を置く「アルザス・欧州日本学研究所〔CEEJA〕」は内部機関の「日本 - アルザス経済協力機構〔AREJA〕」を通して、今後、「アルザス・ビジネス & 観光促進機構〔l'Agence d'Attractivité de l'Alsace〕」とパートナーシップを組みながら日本と

アルザス間の経済協力関係発展に努めていきます。また、名古屋にある日本事務所を活用し、日本との関係をより強化していきます。

さらに、2014 年 11 月－12 月には、同じくキンツハイムの場合に日本企業のためのインキュベーター、ビジネスセンターをオープンします。11 月初めにはこの新しい施設に日本企業第一号が進出します。

2014 年は「日本－アルザス友好 150 周年」事業の一環として、日本とアルザス間で多くの経済協定が調印されました。

- －「飛騨地酒ツーリズム協議会－アルザスワイン街道 友好提携宣言」
2014 年 4 月 3 日 名古屋にて調印 アルザスワイン委員会(CIVA)出席
アルザスワインの日本への輸出促進
- －「岐阜県－オーラン県 経済・観光に関する協力覚書」
2014 年 11 月 7 日 オーラ県にて調印
- －「高山市－コルマル市 経済・観光協力協定書」
2014 年 11 月 7 日 コルマル市にて調印
- －「一般財団法人バイオインダストリー協会とアルザスバイオバレー」
MOU 調印
2014 年 10 月 16 日 調印

その他の友好提携として、ユネスコ世界遺産に登録されている白川村とリクヴィール村が 2014 年 11 月 6 日「友好関係推進宣言書」に調印しました。

この「日本・アルザス友好 150 周年」閉会の記念事業開催中、CEEJA では 400 名を超える日本からの使節団を迎え入れています。

- 2014 年 11 月 7 日－9 日
コルマル国際観光展
日本から芸術家、職人を含め 200 名以上の使節団を迎え、コルマル博覧会委員会、日本国観光庁(JNTO)共催による観光展を開催。
今年は日本が招待国となっており、フランスの観光展で日本が招待されるのは初めてのことです。この観光展はフランスにおける 5 大観光展のひとつです。
- 2014 年 11 月 15 日－16 日
「ジャパン・カルチャー・フェスティバル」
NHK 文化センター、コルマル市、CEEJA 共催
日本から約 150 名の使節団がコルマルを訪れ、それぞれの伝統文化を披露。

ーその他、岩手県、岐阜県、名古屋市、高山市、下呂市、白川村、名古屋商工会議所、全日本空輸株式会社(ANA)など多くの使節団がアルザスを訪れ、日本とアルザス間の経済、観光交流を推進してます。

2013 年、アルザス・欧州日本学研究所はこれまでの友好国際親善への功績と、特に「日本ーアルザス友好 150 周年」に寄与したことを称えられ、日本国より「外務大臣表彰」を受賞しました。

